

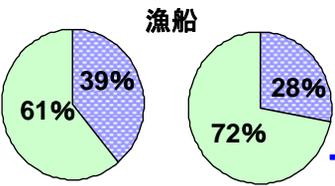
「動きにくいから」「暑いから」「事故を起こさないから」という理由でライフジャケットを着用しないで出港していませんか？
自分の命を守ることが、家族やあなたを支える関係者への使命です。ライフジャケットを常時着用しましょう！

過去5年(H17~H21) 船舶からの海中転落者の

ライフジャケット着用状況

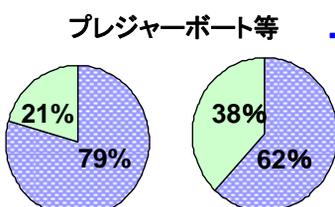
【一管区】ライフジャケット着用者の生存率

一管区 全管区

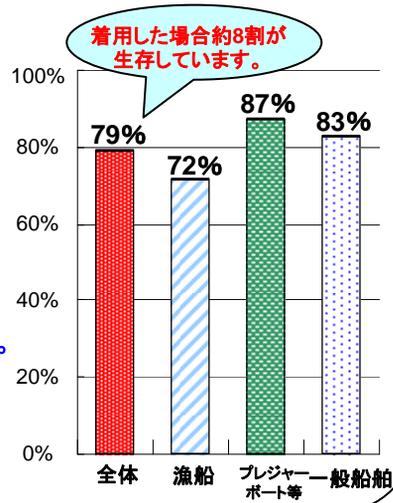
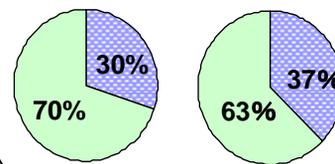


着用 (Blue checkered)
非着用 (Green)

・漁船乗船者の着用率が低い。
・プレジャーボート等乗船者の着用率が高い。



一般船舶(貨物船・作業船等)



ライフジャケットを着用して助かった事例

えりも沖合で、作業中の漁船が大波を受け転覆し、乗組員2名が海中転落しました。当時の天候は、雨、北西の風6m、波高3mの荒天で、海水温度7度という非常に厳しい状況でした。
(本人談)
 突然の大波で船が転覆し、私の上に覆い被さりましたが、**ライフジャケット**を着ていたため、浮くことができ、落ち着いて、海上に顔を出すことができました。
 私たちは、救助を待つ間、海の冷たさで、体の感覚がだんだん無くなり、もうダメかと思いましたが、**ライフジャケット**により浮くことができました。
 おかげで、転覆した船に掴まり、離ればなれにならないようロープで互いの体を縛り、励まし合って救助を待つことができました。**船で沖に出る時には、ライフジャケットを手放せなくなりました。**

ライフジャケットは小型で、軽量なものもあり、デザインも豊富です。

ライフジャケット
形状別



【首掛け式】 【ベルト式】 【チョッキ式】 【ジャンパー式】

その他にも多数あります



(事例) 留萌小平沖のホタテ養殖施設への乗揚回避

平成22年4月27日午前8時28分、外国貨物船(総トン数677ト)が留萌小平沖に設置されたホタテ養殖施設に向かって航行しているのを確認したため、AISメッセージを送信、その後VHFにより針路方向に漁具が設置されている旨の**注意喚起**を行ったところ、同船は針路を変更し、**漁具への乗揚を回避**しました。

同船が留萌港に入港した後、留萌保安部から地元代理店等に、入港船舶に対して通航路上の漁具の設置位置を周知徹底するよう指導しております。



沿岸近くには、これら養殖施設のほか多数の定置網が設置されていることから、**事前に予定航路上の漁具等航行に必要な情報を確実に収集しておきましょう。**

AIS搭載船舶へお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで
 TEL 0134-27-0118
 (内線: 2615、2623)